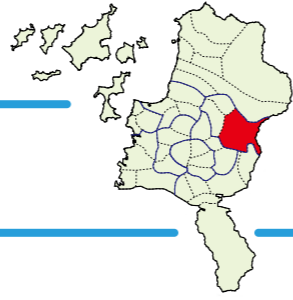


湯山地区

人口:8,471人(高齢化率34.5%)
世帯数:4,072世帯

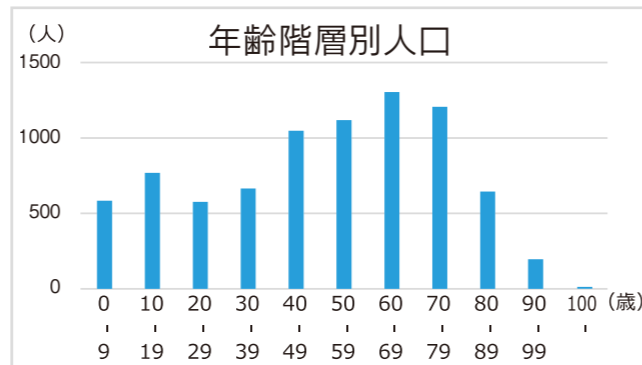


【地区の特色】

湯山地区は、松山市街東部・石手川の流域に位置し、以前はのどかな農山村であったが急速な宅地造成が進んでいる。また、石手川ダム上流の国道317号線沿いに位置する日浦地区は、近年は過疎化、高齢化が進んでいるが、石積みの棚田や彼岸花の自生する自然景観の美しい地域であり、地域全体が一丸となって、ほたるの里づくりなど水源保全地区ならではの活動を続けている。



夏まつり



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事等の参加者が多い ・地域がまとまりやすい ・顔を見るだけで誰かわかる関係ができています ・自然がいっぱい ・たけのこがおいしい ・市内中心部まで近い ・生活がしやすい ・家賃が安い ・出会い(伝統的な近隣の助け合いのしくみ)がある ・農地が宅地になり地区によっては若い世代が増えている ・ダム周りの整備がされている
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・老老介護人口が増えている ・子どもが減っている ・個人情報の問題があり、家庭に入りにくい ・交通が不便である ・バスの便が少ない ・バス停までが遠い ・空き家、空き地が増えている ・坂道が多く、高齢者にはしんどい ・人を集めるのが大変 ・獣被害 ・出会いの活動が年約10回と少なくなった ・地区(湯山と日浦)によって差がある ・竹林放置 ・田んぼダムが無くなっている
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者が増え、高齢化率が進んでいる ・70歳以下の人が少ない(日浦地区) ・公共交通機関が少ない(バスの便が少ない) ・運転免許がないと生活できない ・地域によっては、生活関連施設や医療、福祉関連施設がない ・防災に関する不安(避難所に行くまでの不安、避難所の耐震性が不安) ・児童館や高齢者の集いの場がない ・地域を守ろうとする意識が低い

湯山地区社会福祉協議会

構成団体	地区民協・公民館・支所・地区連絡協議会・日浦区長連合会・まちづくり協議会
主な取り組み	活動内容
高齢者見守り活動	独居高齢者に手作り弁当の配布や寝たきり及び認知症の方のお宅を訪問しお見舞金を渡すなど、地区民協と協力し見守り活動を行っています。
世代間交流	小百合保育園の園児と地域の高齢者が、歌や工作を一緒に楽しむなどし、交流を深めています。
健康講座	健康維持に関する話を聞くとともに、活動を通して地域の絆が深まり、住みやすい地域づくりの推進になるよう開催しています。

夏休み将棋教室(8月)

地域の将棋名人が湯山児童クラブの子どもたちに毎年夏休みを利用して将棋を教えています。ここで将棋を学ぶ子や年々腕を上げる子も多く、対局を楽しみにしています。将棋教室を通じて世代間の交流が深まっています。



<地区社協が目指すもの>

湯山地区は、松山市の水瓶となる石手川ダムがある地区で、石手川の流域に集落が点在するのどかな農山村地域です。道後に隣接する地域では宅地造成等が進み、人口増加の傾向にありますが、石手川ダム上流の日浦地区では特に少子高齢化や過疎化が進んでいます。

湯山地区では、地域住民の交流が図れるふれあい・いきいきサロン等を通じて、誰もが安全で安心して暮らせる地域・環境づくりを目指しています。また、災害時の救援活動として行政や諸関係機関・団体等と連携し、要支援者等の把握にも努めています。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	15名 2名	■町内会・自治会・区長会等 ■高齢クラブ ■子ども会	43団体 3クラブ 6団体
	■まち協の設立	平成28年度	■自主防災組織	40組織

他の地区と比べ、自主防災組織の組織数が多く地域内で「互いの顔がわかる関係」が構築され地区住民の凝集性が高い地区です。少子高齢化が課題となりつつも、高齢者見守り活動や保育園での世代間交流、大人と子どもの交流の場となる夏休み将棋教室など多様な世代が関わる活動が盛んに取り組まれています。結果、人間関係が豊かであるという地区の強みに繋がっているといえるでしょう。宅地が増えて若い世代が入ってくるなどの変化はありますが、地区の強みを生かして新しい住民と既存の強みをつなげ、さらに発展することを期待します。

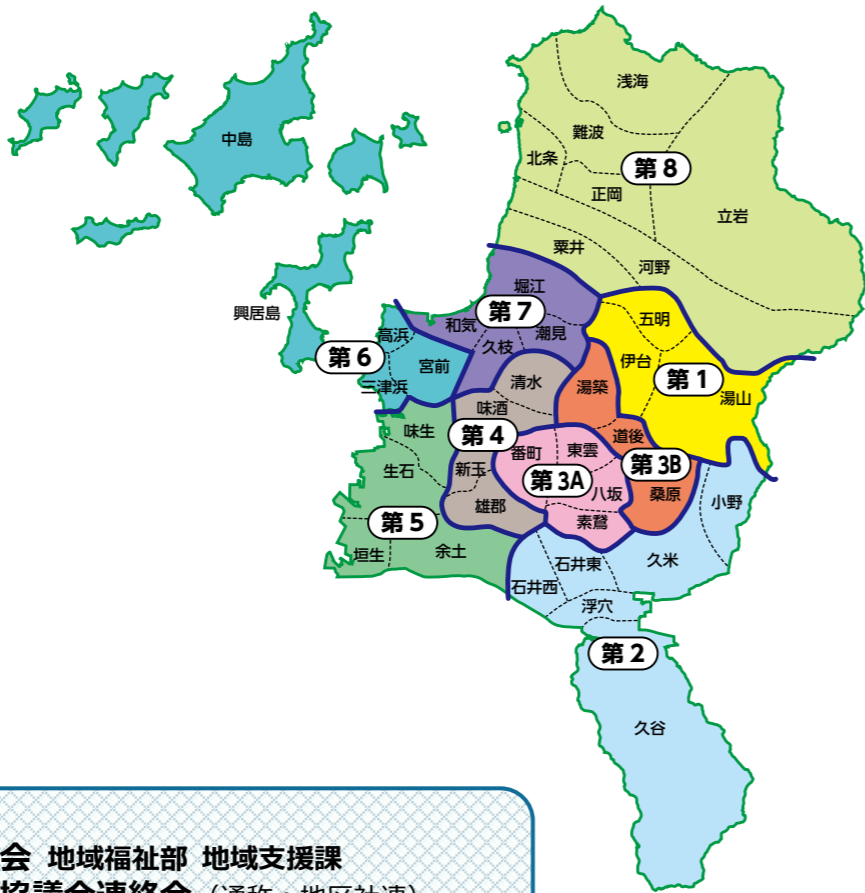


地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	興居島地区	正岡地区	
	浮穴地区		中島地区	北条地区	
	小野地区		潮見地区	河野地区	
	石井東地区		久枝地区	粟井地区	
	石井西地区		和気地区		
久谷地区	堀江地区				
第3 A	番町地区	第4	雄郡地区		
	八坂地区		新玉地区		
	東雲地区		清水地区		
素鷲地区	味酒地区				
第3 B	道後地区	第5	余土地地区		
	湯築地区		垣生地区		
	桑原地区		生石地区		
			味生地区		



発行日 令和6年4月
発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
 松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）
 〒790-0808 松山市若草町8番地2
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>
作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

<『地域カルテ』の見方>

①地区の概要

五明地区は、市内中心より北東に位置し、標高300mの中山間地域で自然に恵まれた地域である。花崗岩土壌と豊富な湿度がある立地条件を生かし、古くから心とう栽培に誇りを持っている。また、五明太郎などの「五明太郎」源氏平太が自然発生する「五明川が流れており、清流に親れている。

人口：426人(高齢化率48.8%)
世帯数：225世帯

②地域住民からみた地域の状況

高齢者が多く、この地域が把握できる一家庭内の事情がある程度わかっている。個人でゴミ捨てや買い物、物取扱いをしながら、移動スプーターが来る車での通勤。通学時は徒歩も20-30分で市内中心部へ行く。自然が豊かで季節を感じることができる。食へのこだわり(コンド)が強い。自主防災と連携し、災害時の避難の仕組みを作っている。集会所が利用できる。田舎暮らしなど地域の子どもの交流。

③地区社協の概要と取り組み

五明地区社協は、公民館をはじめとする地区内の団体と連携し、自主防災訓練、奉仕活動、まちづくり、健康講座、高齢者支援、しめつけ、もちつき、ふるさとまつりなどの地域行事と連携した地域活動の実施を基本方針としています。今後の目標としては、五明地区まちづくり協議会との連携をさらに深め、日常生活の困りごとを地域住民同士で支えあっているよう地域福祉活動の発信を目標としています。

④地区内関係団体データ

地区民協、まち協の設立、町内会等、高齢クラブ、子ども会、自主防災組織の現状を記載しています。

⑤地域福祉推進のポイント

聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

- ①地区の概要
 - 人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
 - 地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。
- ②地域住民からみた地域の状況
 - 研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。
- ③地区社協の概要と取り組み
 - 令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。
- ④地区内関係団体データ

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査(基準日:令和5年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(令和5年7月1日現在)
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数(令和5年5月1日現在)
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(令和5年4月1日現在)
- ⑤地域福祉推進のポイント
 - 聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
 - 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏